



ISO9001認証

この度の記録的大雨によって、大きな影響を受けられた理美容室、理美容師の皆様、心よりお見舞い申し上げます。

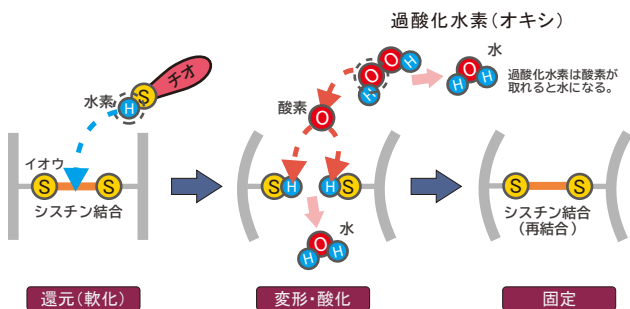
科学リテラシーを磨こう！



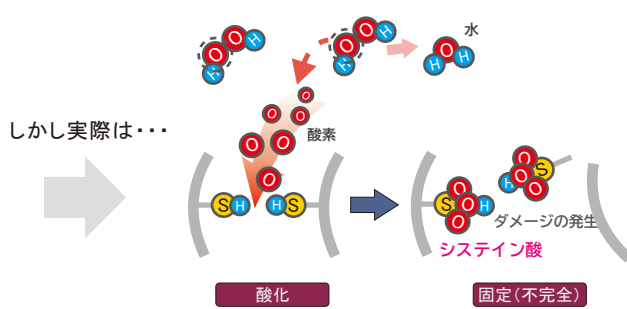
過酸化水素2剤の常識を変えた『反応抑制型』

パーマや縮毛矯正のよくある失敗例に、アルカリ性の1剤で髪を膨潤・軟化させ過ぎて、髪を傷めてしまったということがあります。皆さん、ご存じのことと思いますが、髪は一度傷めてしまうと元の健康な状態には戻りません。ですから、ヘアケアにこだわる理美容師さんは、普段から髪を傷めない薬剤、技術の情報に敏感だと思います。でも、私の経験ではそこで取り上げられるのは、1剤(還元剤)の話ばかりで、2剤(酸化剤)については、ほとんど取り上げられません。1剤だけではなく、2剤(酸化剤)でも髪を傷めてしまうことがよくあるにもかかわらずです。通常のパーマでは、1剤でS-S結合を切り、2剤で再結合させますが、2剤では切れたS-S結合を100%再結合することができず、パーマや縮毛矯正をする度に、髪の強度が低下してしまいます。さらに不完全な再結合しかできていないと、パーマや縮毛矯正が取れやすくなるだけでなく、ダメージの指標と言えるシステイン酸を産生してしまいます。そこでヌースフィットが開発したのが、システイン酸の産生を抑えながら、しっかり酸化できる「反応抑制型過酸化水素2剤」です。1剤同様に2剤によるダメージも仕上がりを左右する大切な要素です。1剤ばかりでなく、2剤でのダメージも軽減して、美しい仕上がりをお客様に提案してください。

1) 理想的なパーマの機構



2) 不完全な酸化で損傷の原因「システイン酸」が発生している



※理想的な2剤の使い方は、裏面を参照!!

サロンワークに役立つ知識を
きょうの毛髪科学から解説!!

研究・開発の観点からの解説を
ぜひ動画でご覧ください。



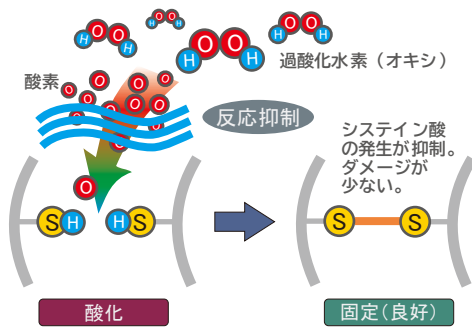
ダメージに合わせて、
使い分けができます。

1.2%
1.5%
(S、M、W共通)

きょうの毛髪科学121116/
ハイダメージ毛のストレートでは、第2剤(過酸化水素)の濃度はどちらの方が傷みが少ない? ①高め、②低め、③あまり関係ない。。。

ハイダメージ毛は毛髪内部のタンパク質やCMCが抜け出した状態です。そういったハイダメージ毛にストレートをするだけでも、1剤が強く反応したり、アイロン熱でダメージする可能性が高いのですが、さらに強い過酸化水素で酸化をさせてしまうと、さらにダメージを加速させてしまいます。また過酸化水素は反応が早いからといって短時間で済ませようとする、再結合が不完全になり、システイン酸を生成させてしまいます。ハイダメージ毛はもちろんですが、健康毛においても、濃度が低めの第2剤を選択し、じっくり効かせることが大切です。

◆反応抑制型過酸化水素2剤のはたらき



パーマや縮毛矯正で髪を傷めない秘訣!!
1剤も2剤も弱めの薬剤をじっくり効かせること

◇システイン酸の生成を抑制する2剤の使い方

- ①パーマ1剤やストレート1剤に対して、約1.5倍の量を目安に2度付け。(トータル15~20分放置)
- ②不完全な部分に架橋をして、システイン酸の生成、毛髪の強度低下を抑制するパワーR2+を併用。(配合量は、2剤に対して10~20%混合)



システイン酸の生成を抑制する架橋剤「パワーR2+」

◇配合成分

架橋性リアクティブレジン、カチオン系セラチンPPT
カチオン系ヒアルロン酸、リビジュア

220ml/@1.800 1000ml/@7.000

◆反応抑制型過酸化水素2剤がセットの製品

pH 7 8 9 10 形状(還元剤)/価格

※メニュー、用途に合わせてお選びください。



ローション(チオ) S,W共通 ①400/②425 セット @1.500
ローション(シス) S,W共通 ①400/②425 セット @1.800
クリーム(チオ) 4種共通 ①400/②425 SS @2.500 S,M,W @2.300
ジェル(チオ) 2種共通 ①400/②425 セット @3.000

開発の現場から

— 高い意識を育てる教育訓練 —

株式会社ヌースフィット
主任研究員 高見 拓

皆さん、理美容室で使ったロッドやヘアダイブラシなど、用具の洗浄、しっかりできていますか？
ヌースフィットでも出来上がった薬剤を容器に充填した後、「充填機」の洗浄を行います。クリーム状のトリートメントや粘性の高いパーマ剤など、充填機内に残りやすいものは勿論、洗い落としやすく思える液体の薬剤であっても、絶対に洗い残しが無いよう、充填機を分解して細心の注意を払って洗浄しています。万一洗い残しがあり次に充填した薬剤と混ざってしまうと、極僅かであっても正しい規格の製品ができないからです。

充填機の洗浄は手間も大変ですが、大切なのは確実に洗浄できていること。理美容室でもヘアカラーがヘアダイブラシに残っていたりすると良い結果は得られないと思います。
間違いなく汚れを洗い落とし、綺麗な状態を維持するためには、携わる人全員が、同様の正しい洗い方をしなくてはなりません。ヌースフィットでは、そのための教育訓練をパートさんにも行い、洗浄について高い意識を持つよう努めています。
充填機の洗浄後は、洗浄した人とは別の担当者が確実に汚れが落ちているかをチェックし、合格しなければ使用できません。これはお客様にヌースフィット製品を安心して使っていただくための必須項目です。

